

## 3. 延宿泊者数について

- データ出典 観光庁宿泊旅行統計

- 調査対象

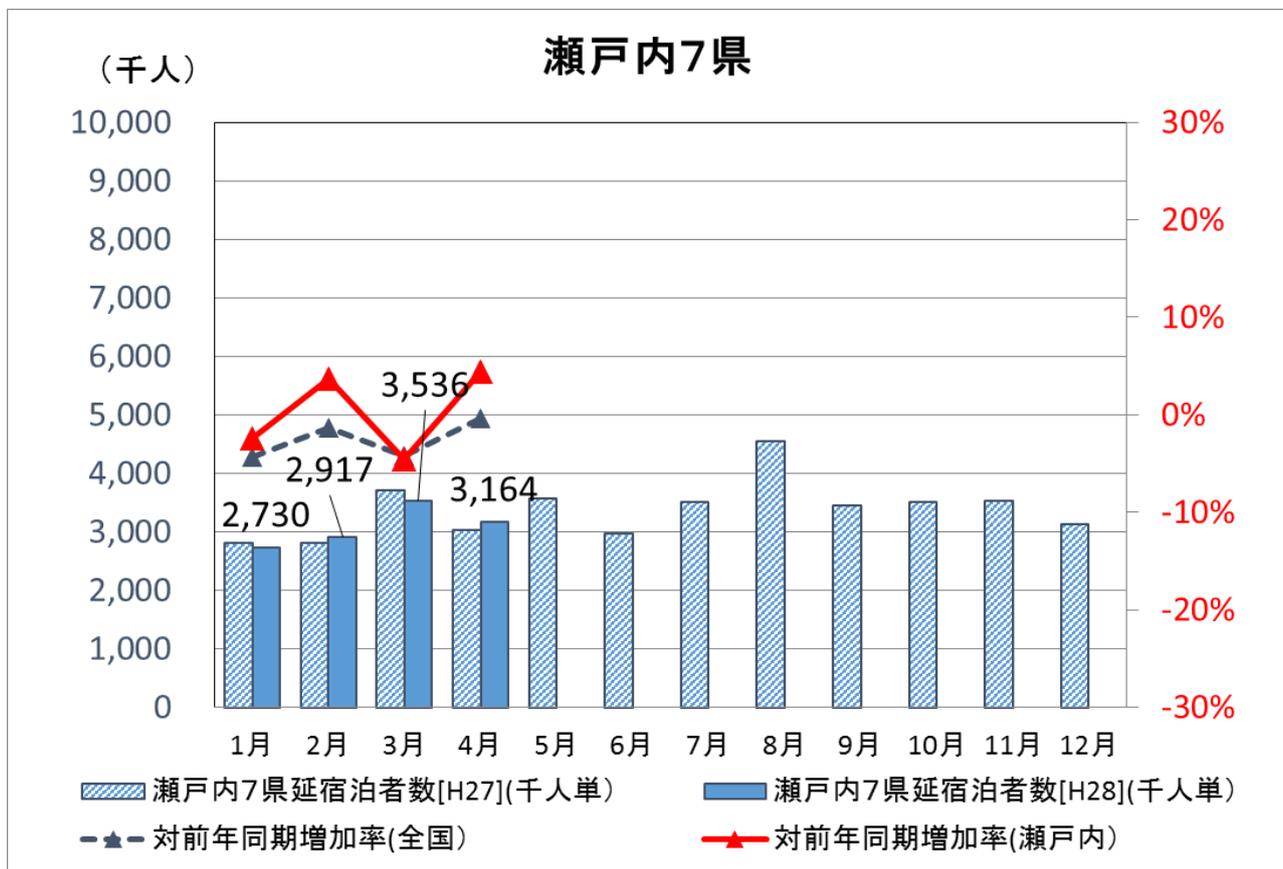
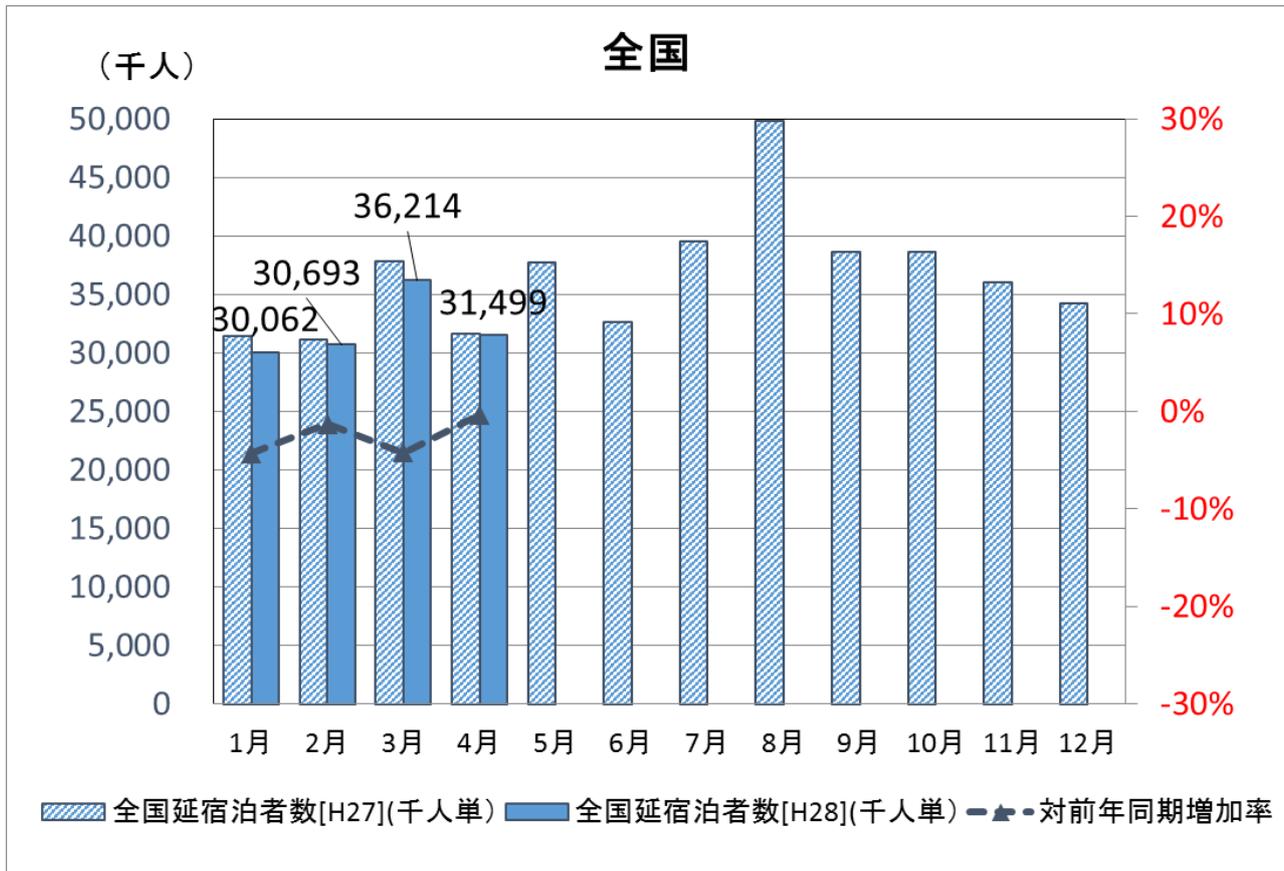
統計法第27条に規定する事業所母集団データベース（総務省）を基に、標本理論に基づき抽出されたホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などで、従業者数に応じて以下のとおり。

- ・ 従業者数10人以上の事業所：全数調査
- ・ 従業者数5人～9人の事業所：1/3を無作為に抽出してサンプル調査
- ・ 従業者数0人～4人の事業所：1/9を無作為に抽出してサンプル調査

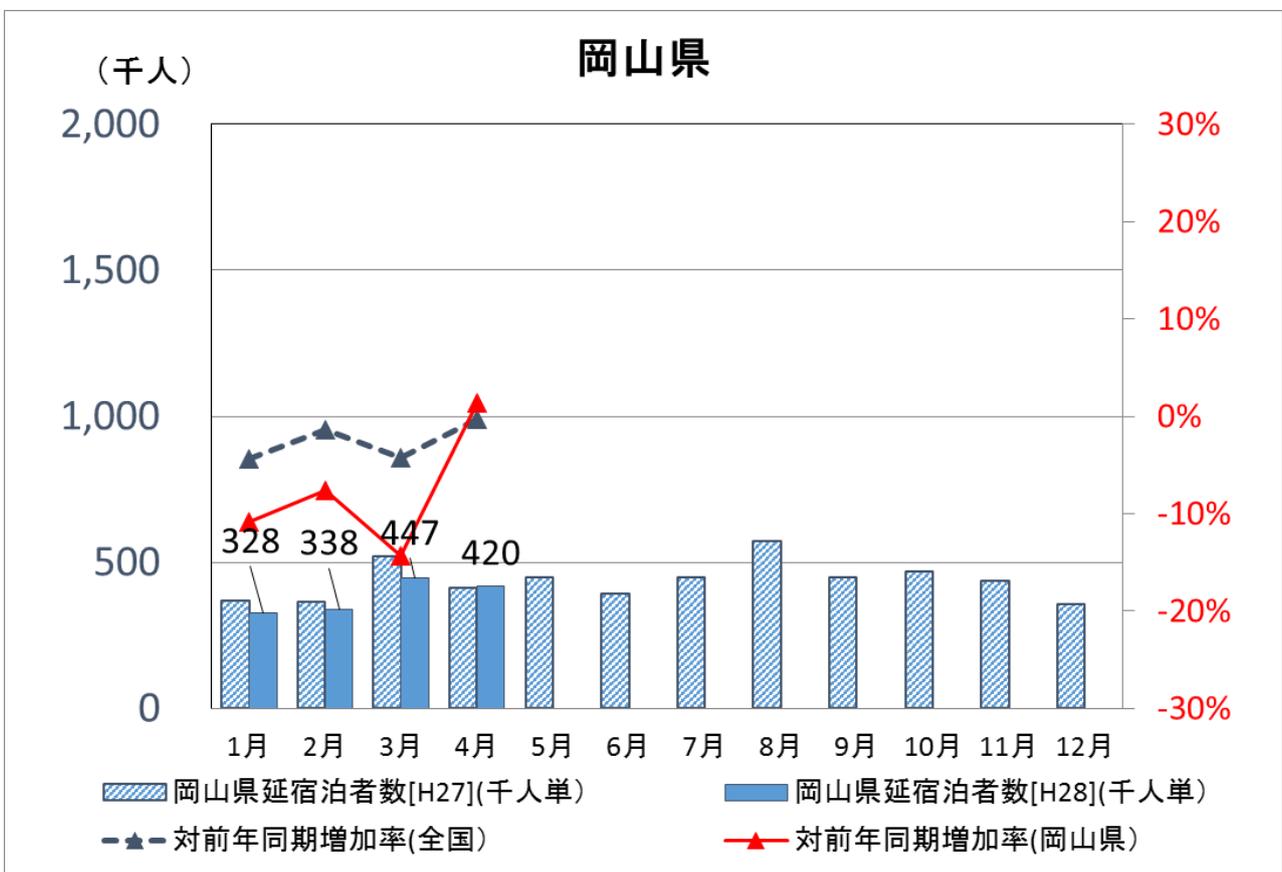
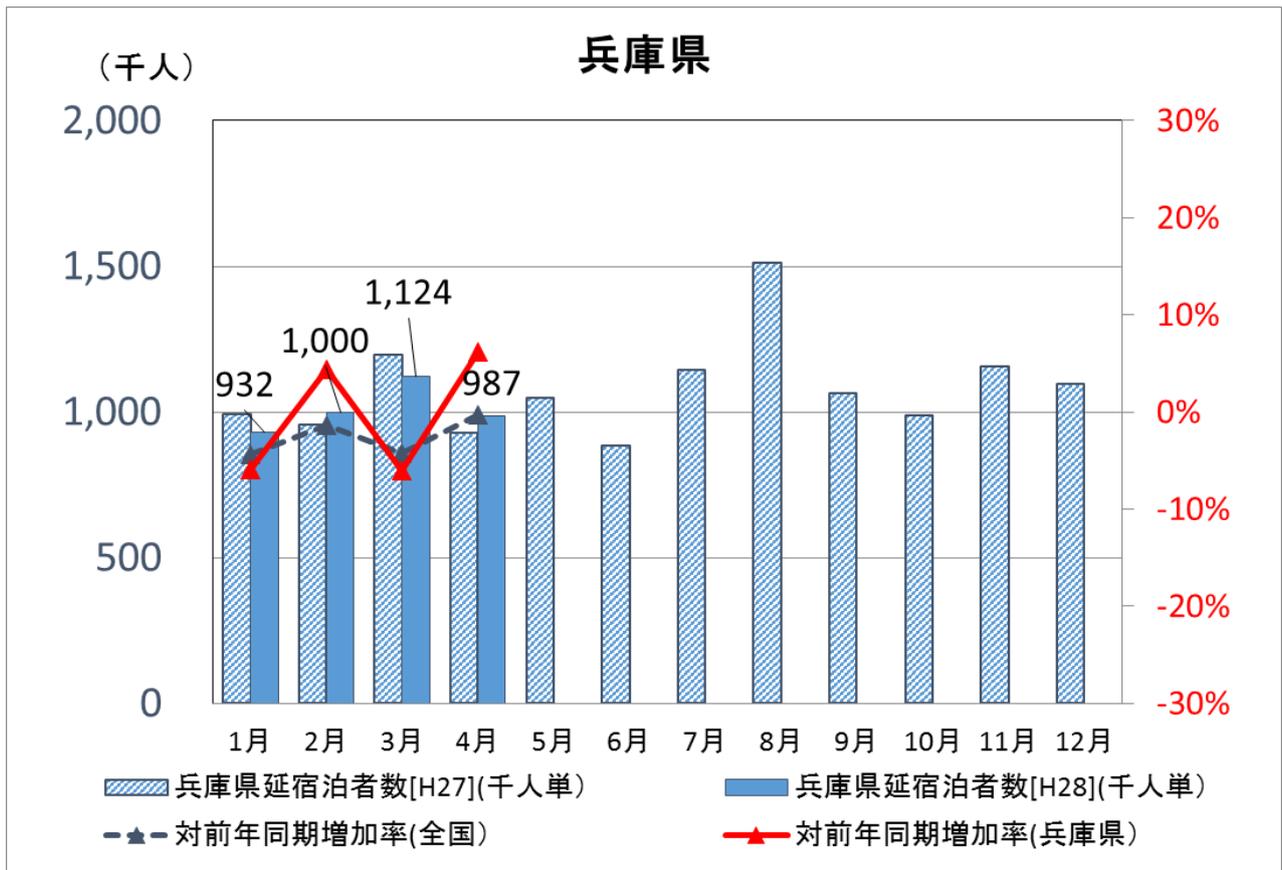
- 国内延宿泊者数については、全体と外国人延宿泊者数の差により算出

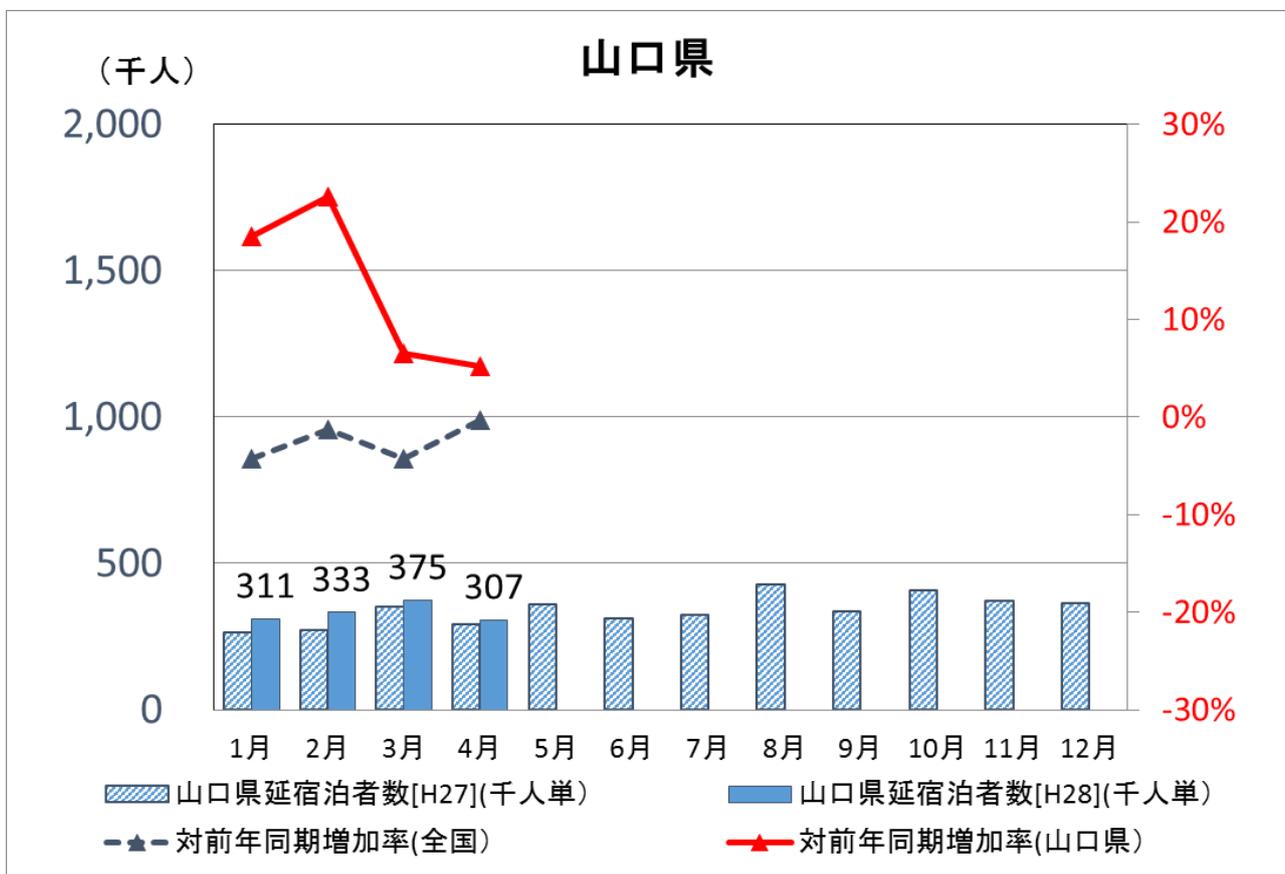
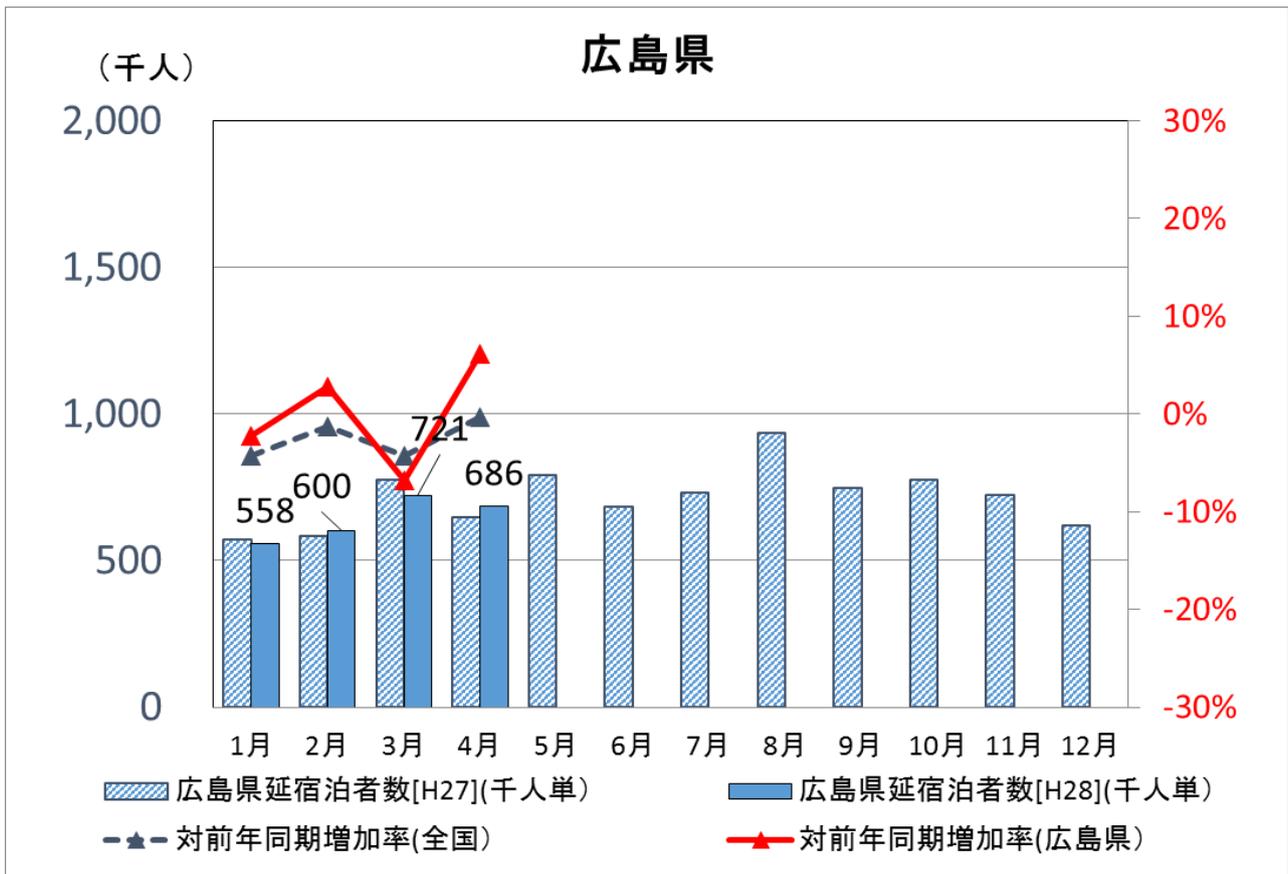
1 瀬戸内エリアの国内延宿泊者数の状況（平成 28 年 1 月～4 月）

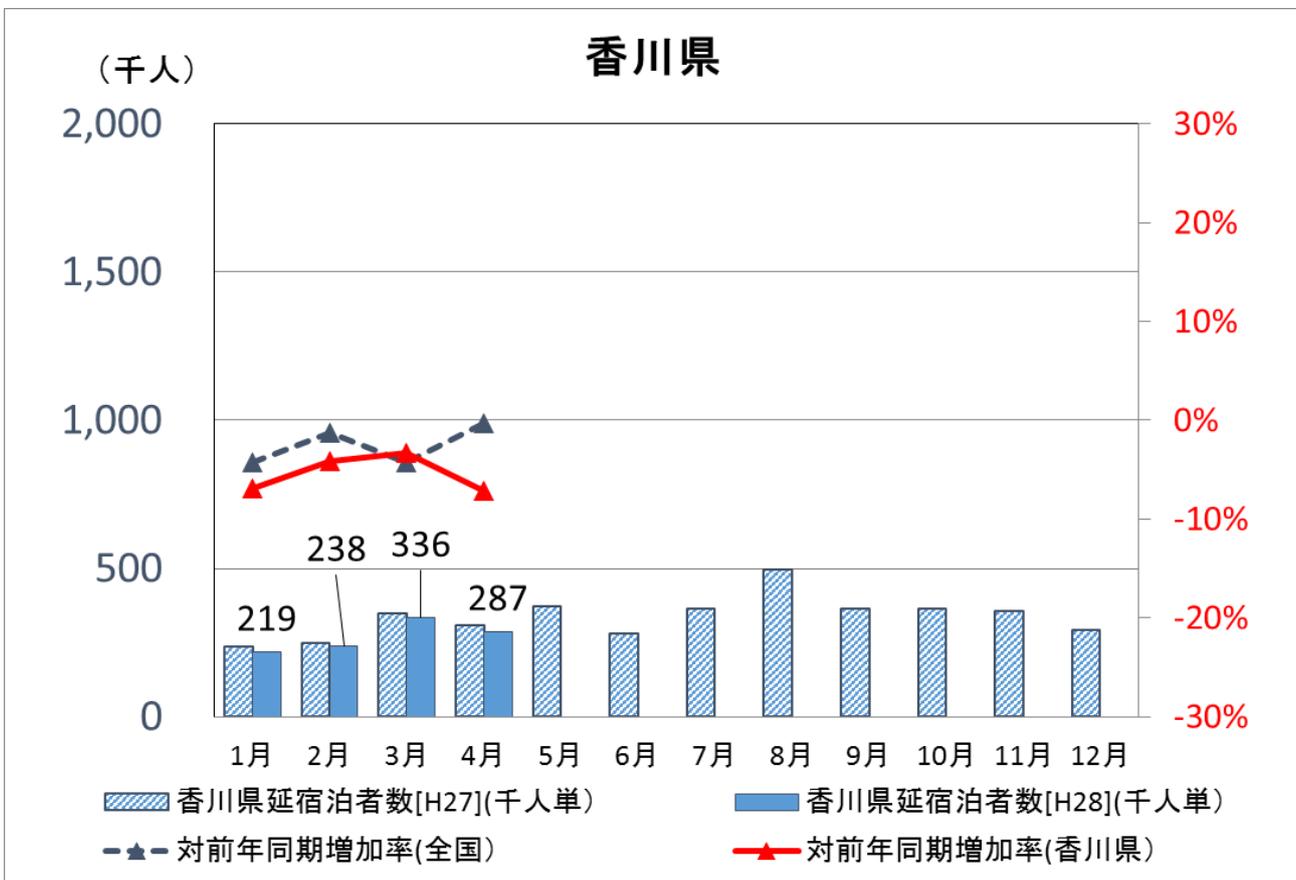
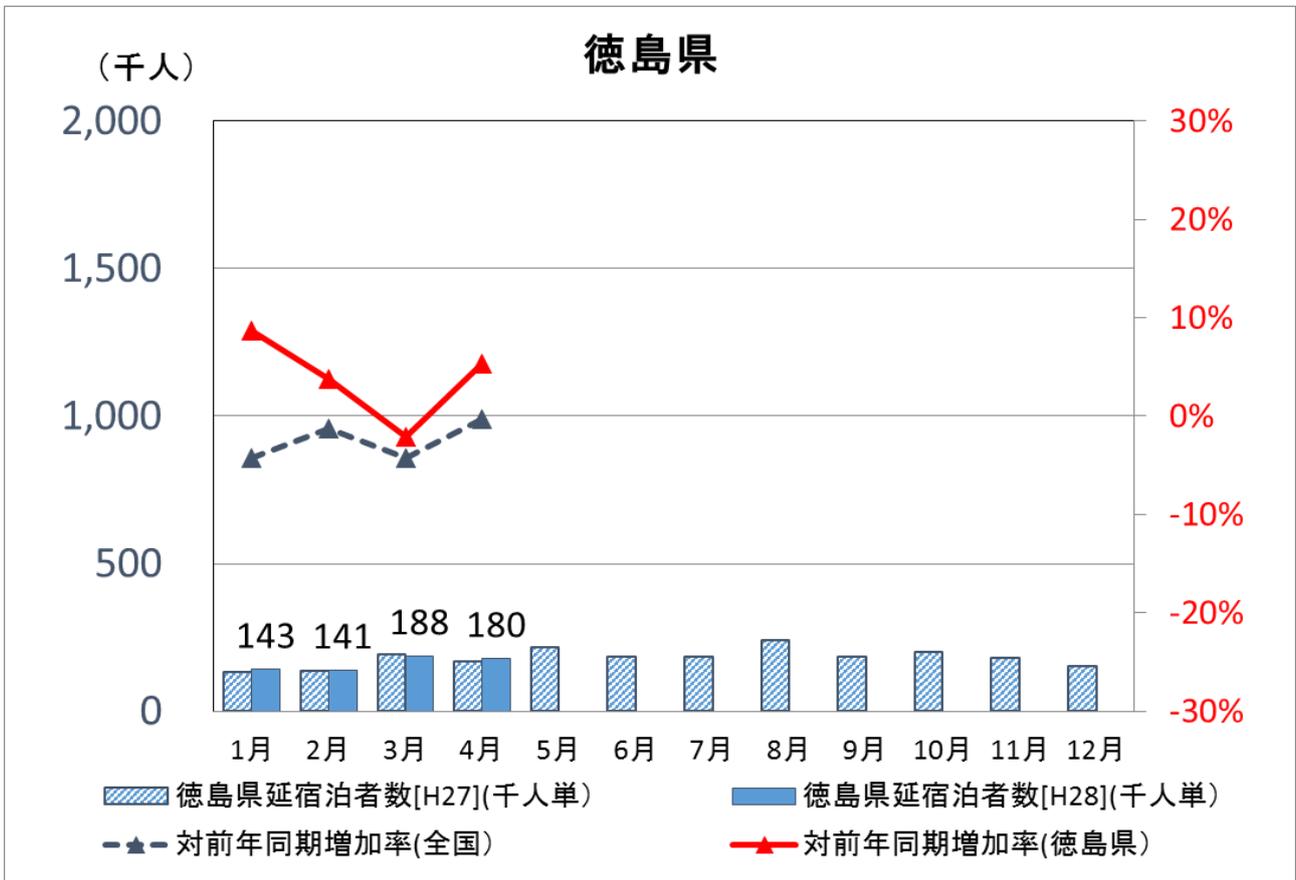
(1) 全国状況と瀬戸内エリア状況

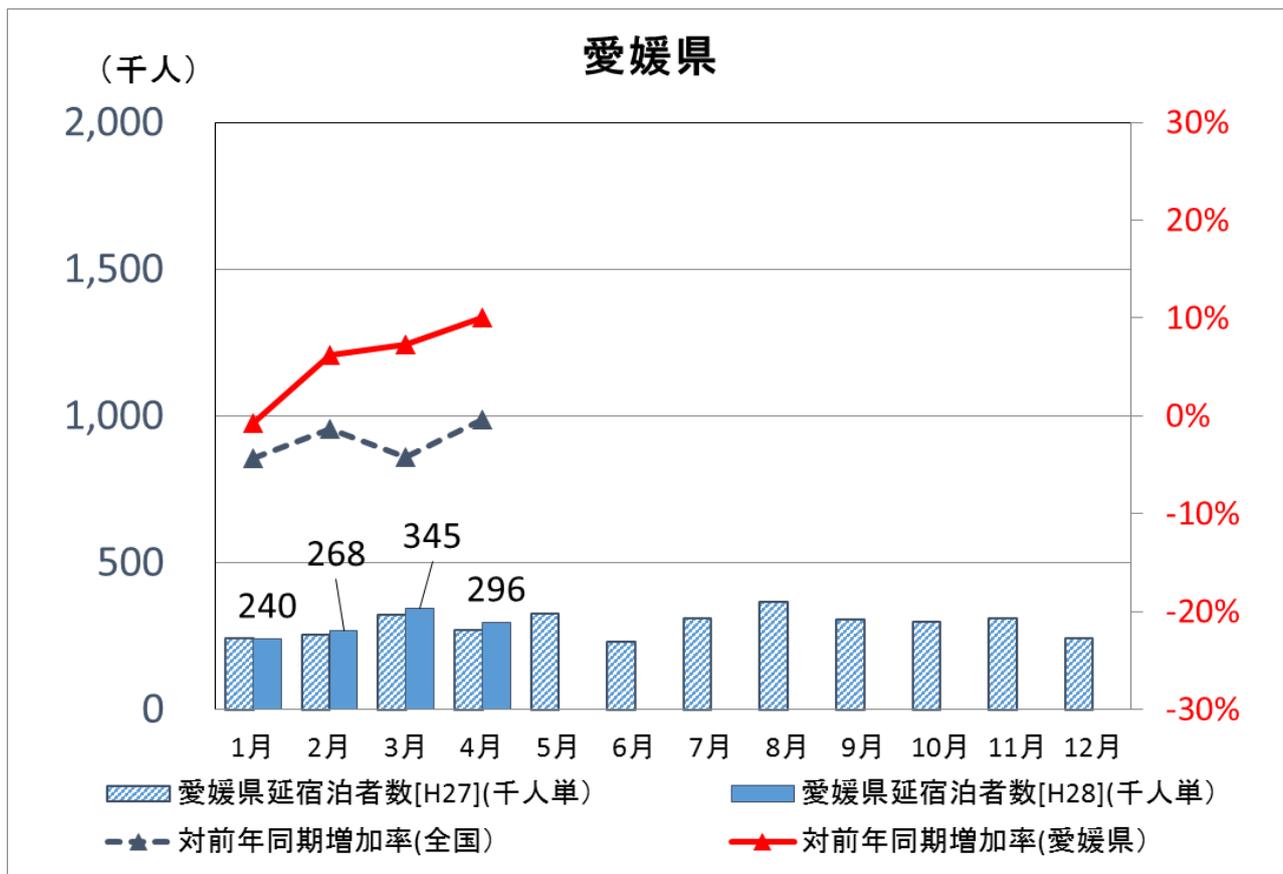


(2) 各県別推移



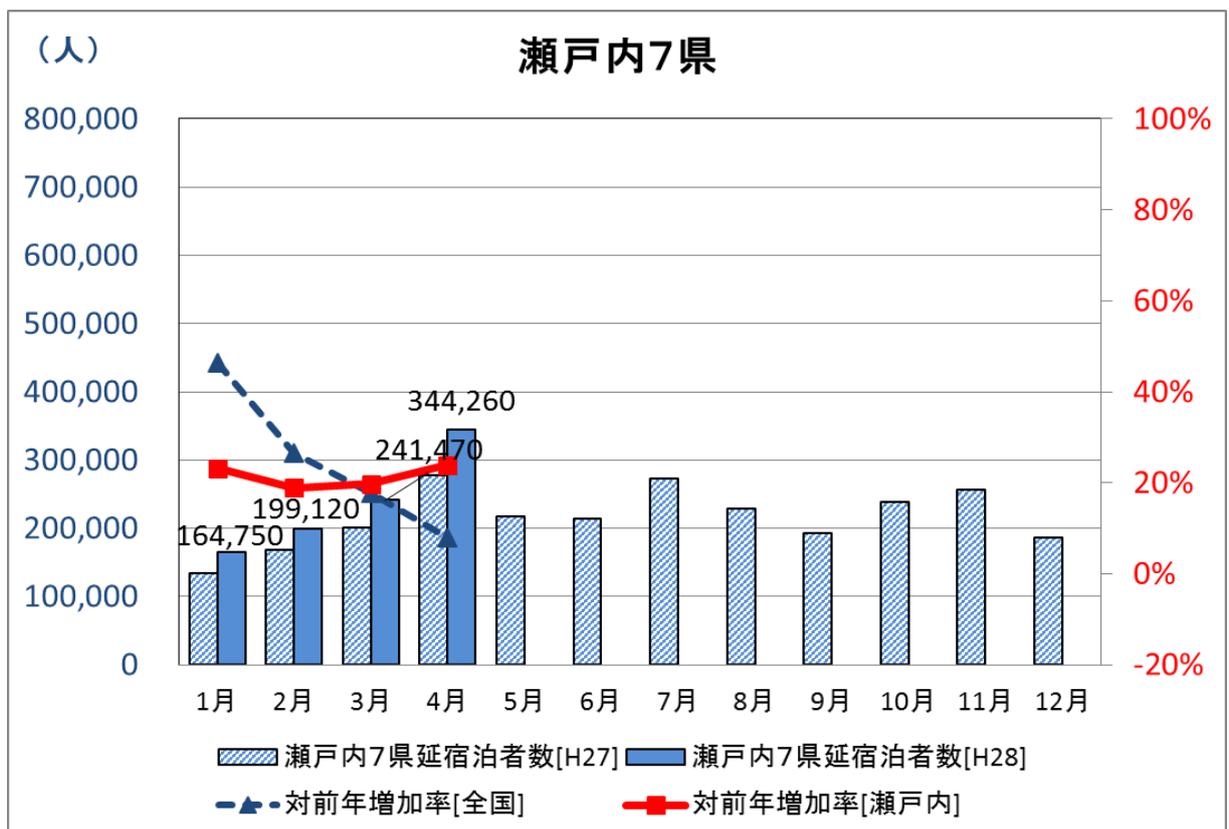
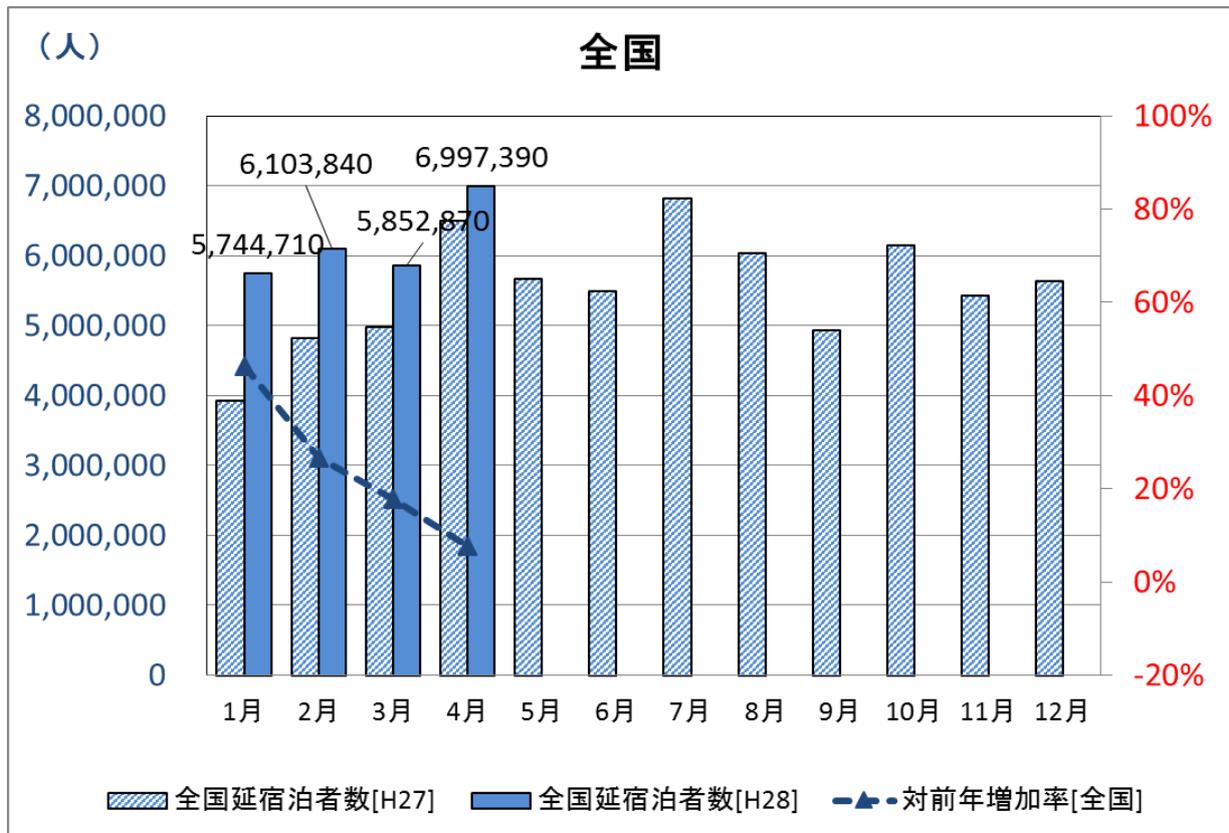






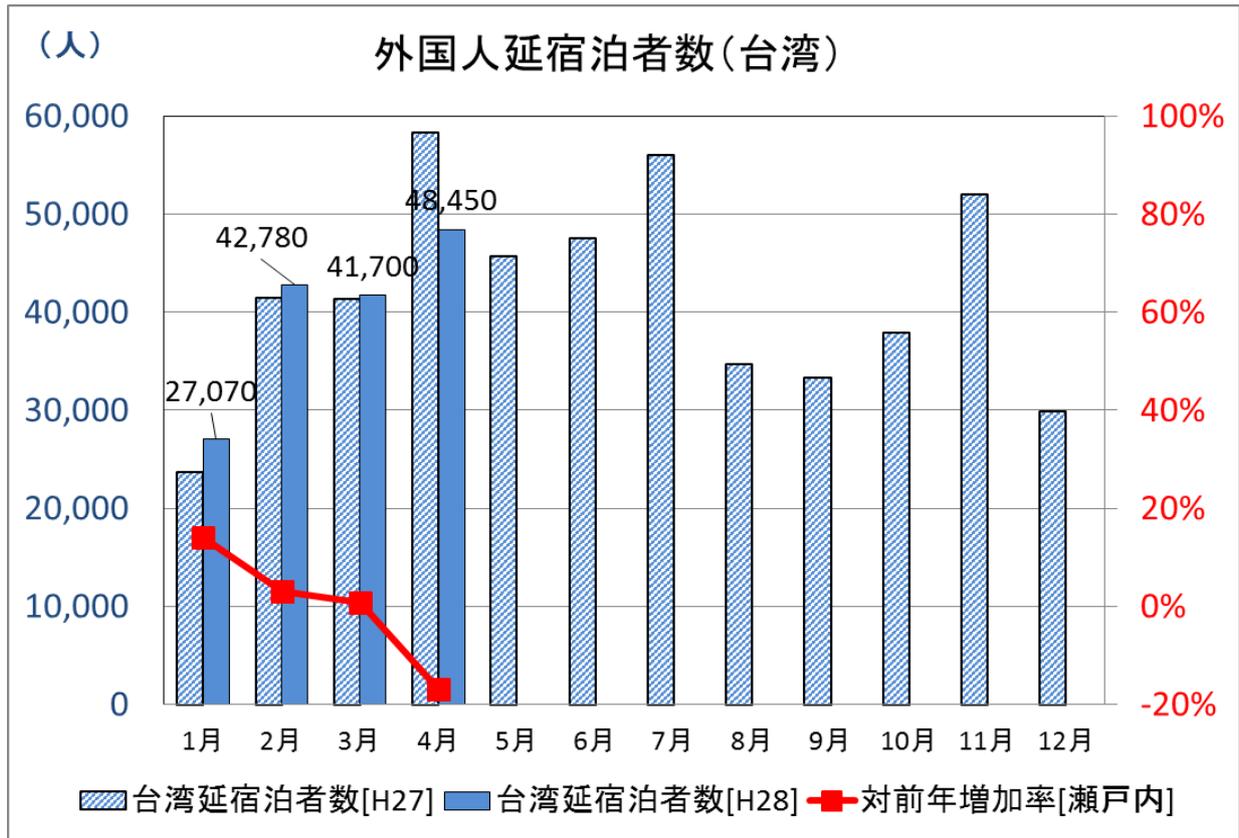
## 2 瀬戸内エリアの外国人延宿泊者数の状況（平成28年1月～4月）

## (1) 全国状況と瀬戸内エリア状況

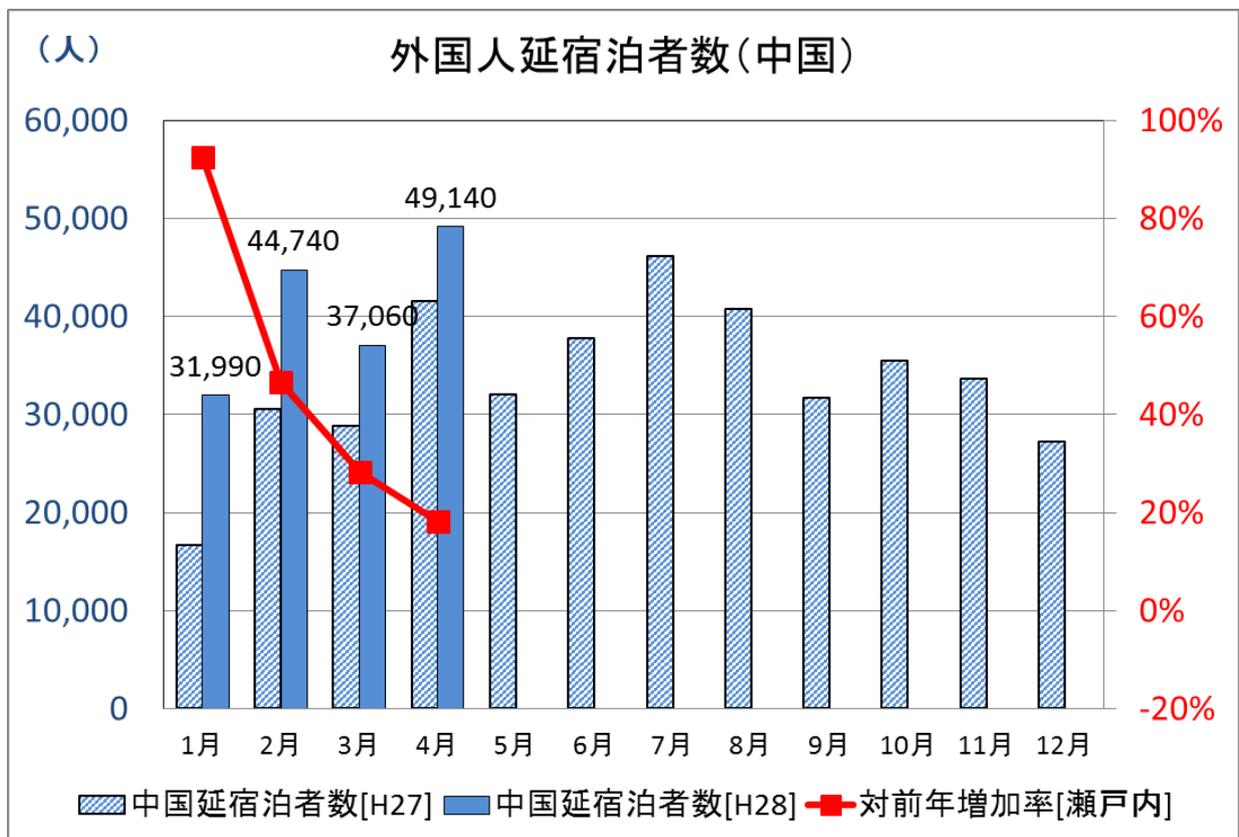


(2) 瀬戸内エリア国別概況 (従業員 10 人以上の施設のみ)

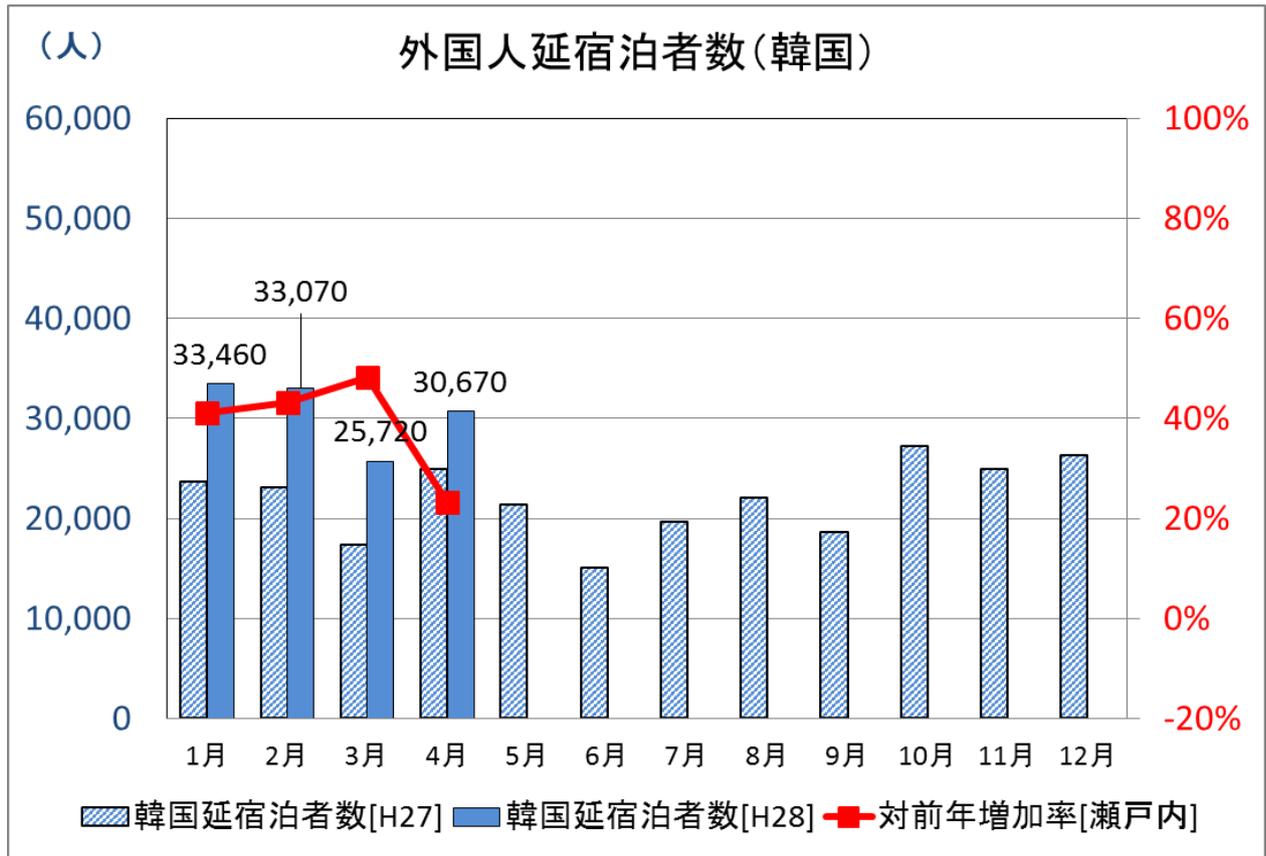
①台湾



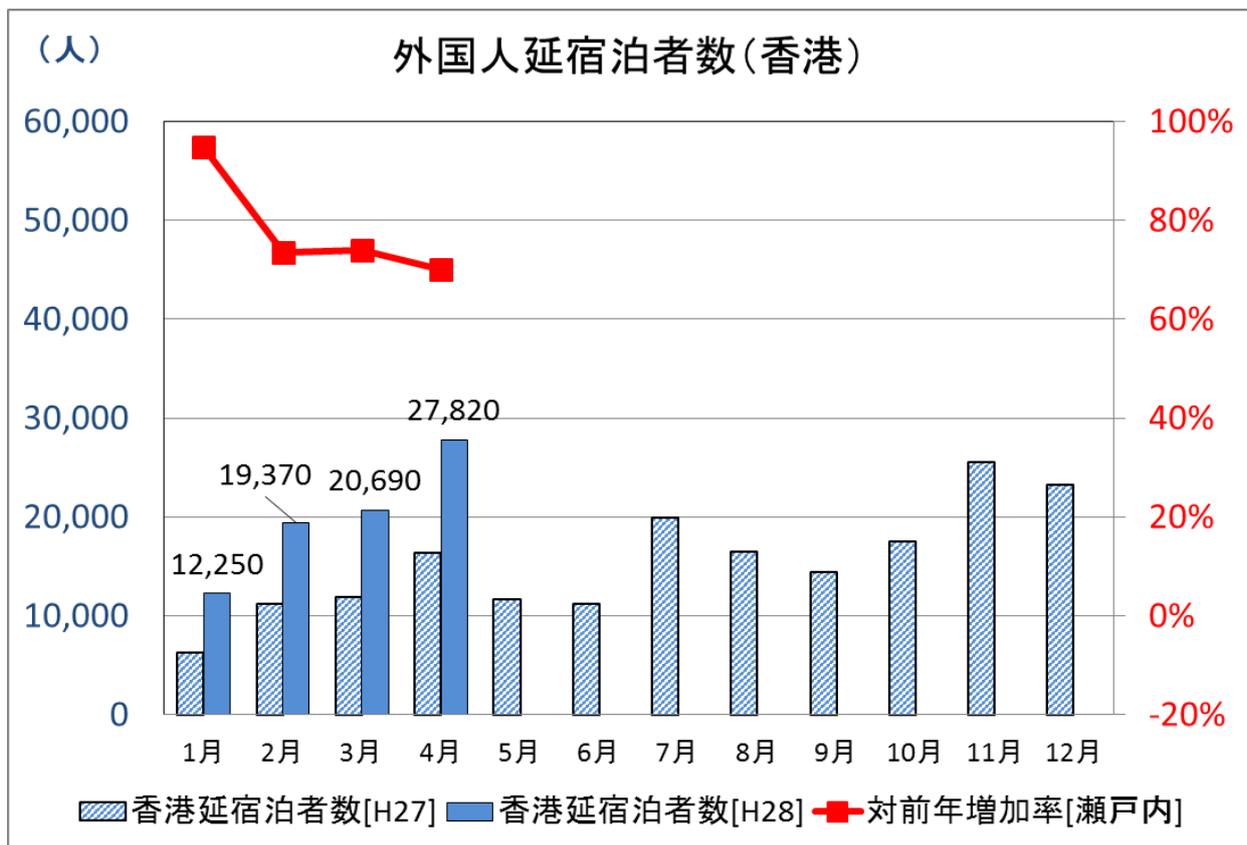
②中国



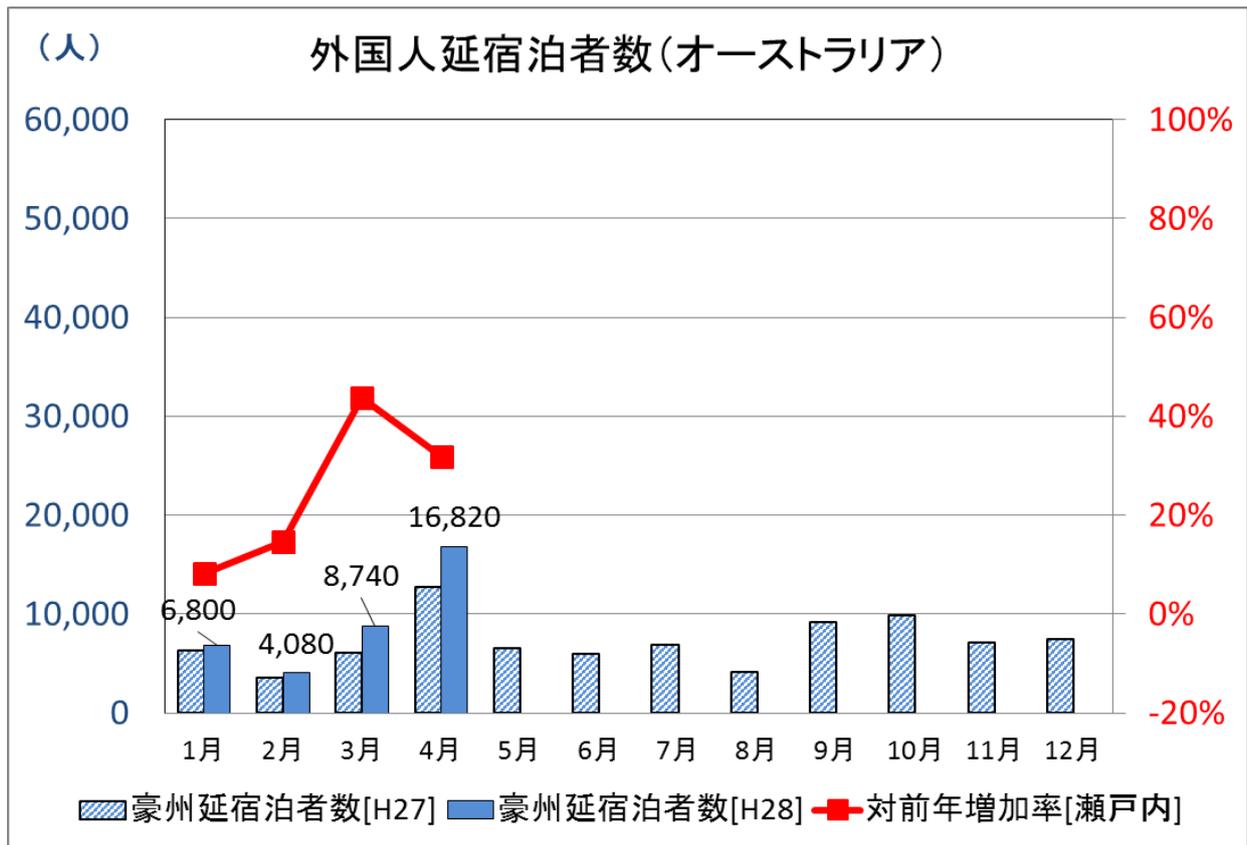
③ 韓国



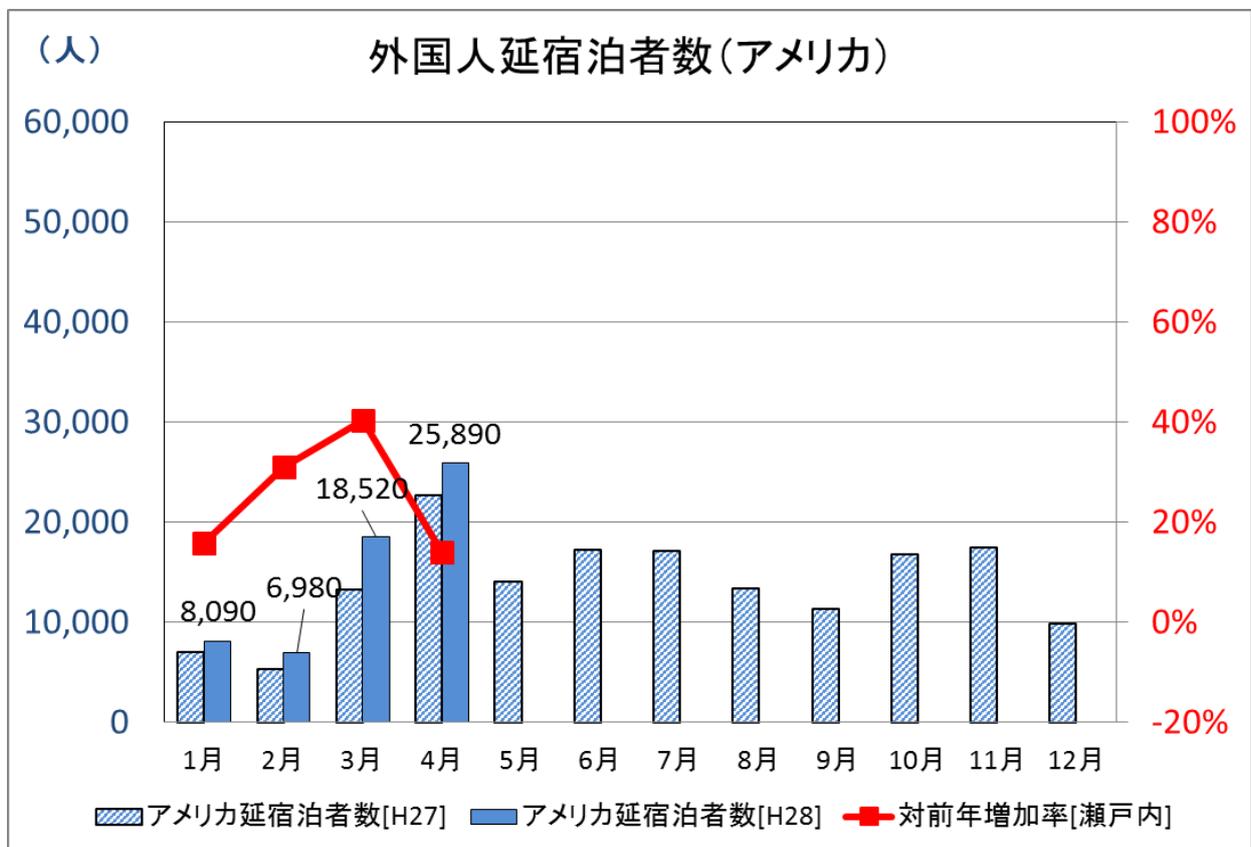
④ 香港



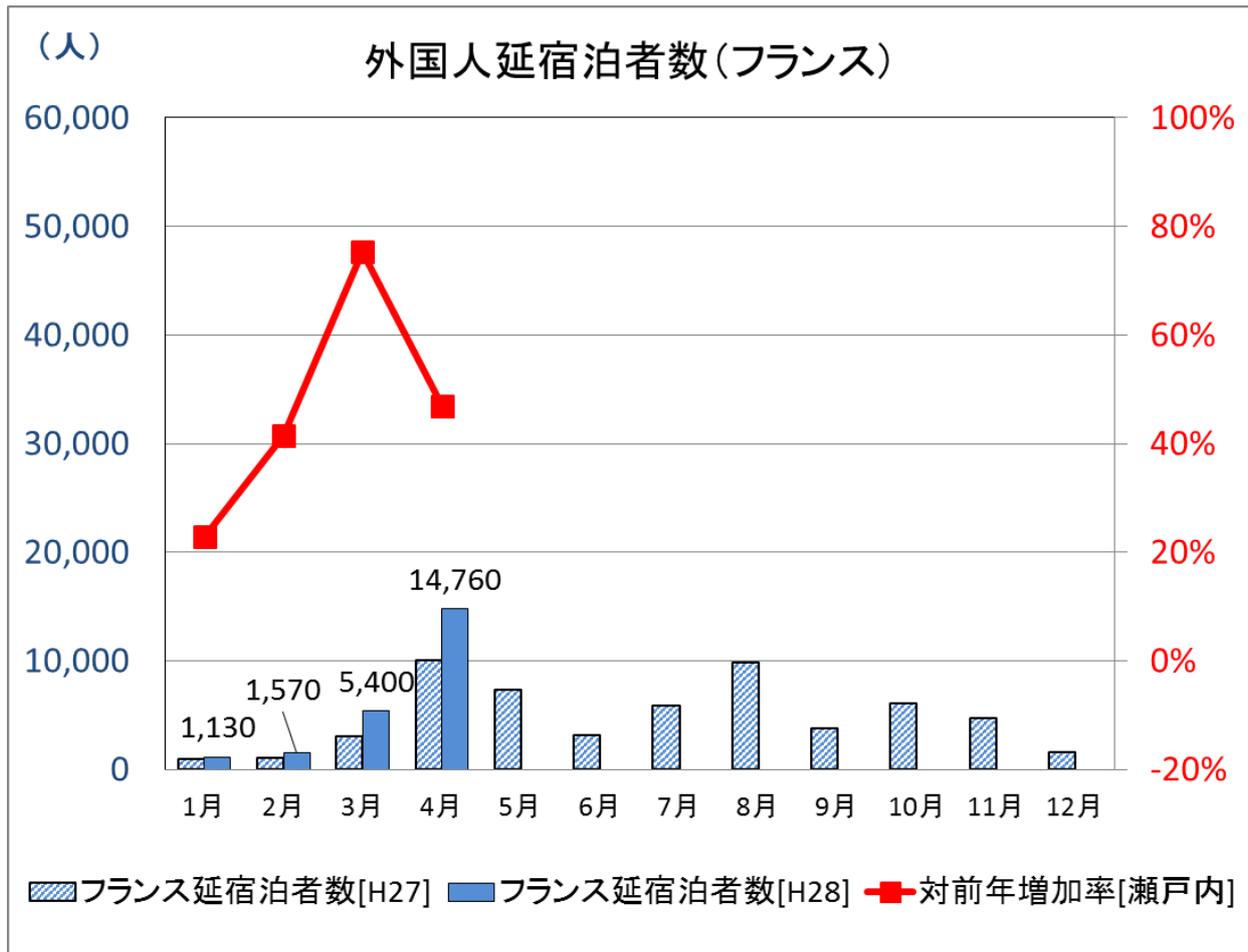
## ⑤オーストラリア



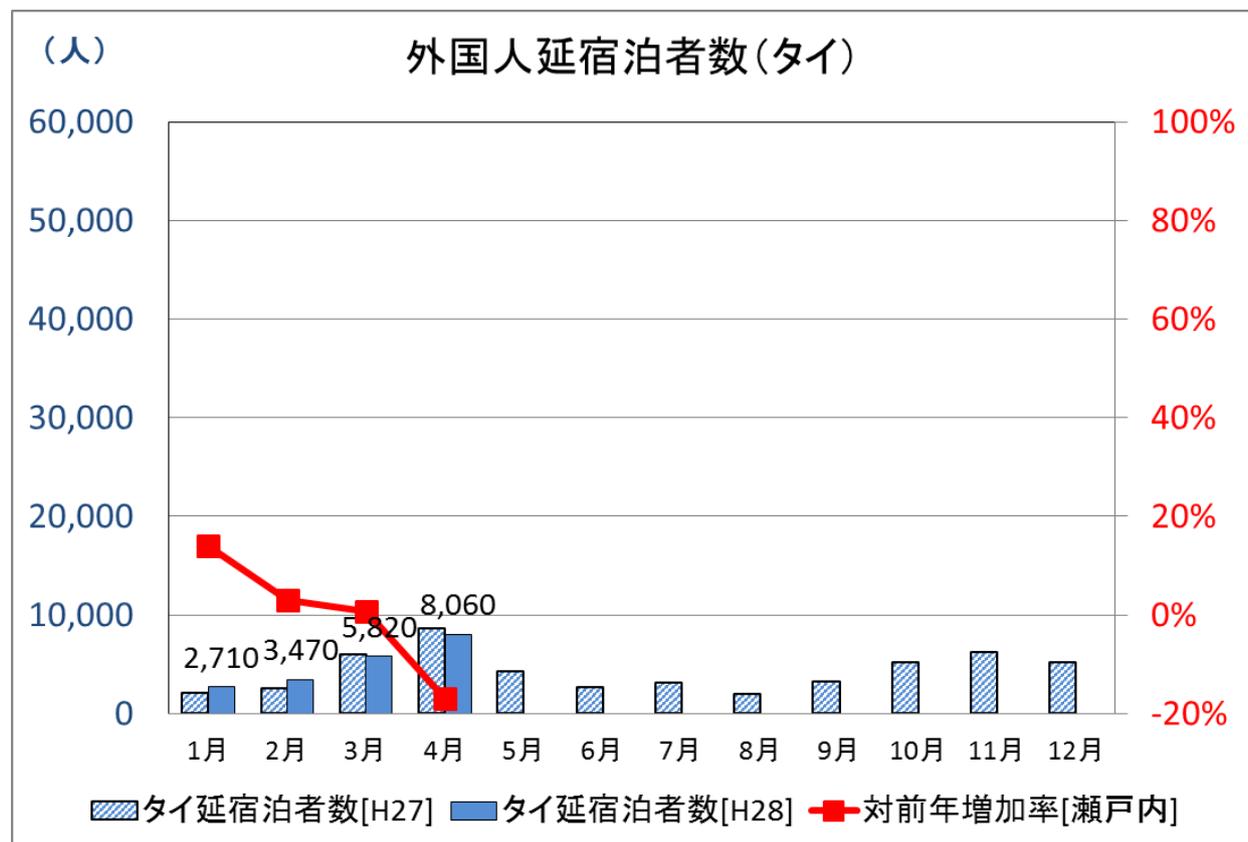
## ⑥アメリカ



⑦ フランス



⑧ タイ



(3) 各県別推移

